

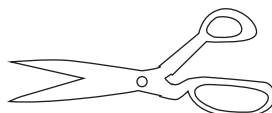
バフモーター初期セットアップ手順書

(サンニシムラ製 バフモーター機種共通)

使用ツール



No. 95-T バフ掻き



・裁ちばさみ

- ・保護メガネ
- ・防塵マスク

1. バフ布表面のコンディショニング

新品のバフは表面が硬く、そのまま使用すると過剰な摩擦熱が発生してフレームやレンズを傷める原因になります。また、研磨剤も定着しにくいいため、専用工具で表面を理想的な「**フカフカの起毛状態**」に整えることが不可欠です。



【新品時】

表面が固く、そのままでは加工には適しません。



【毛出し後】

起毛させたフカフカした状態が、理想です。

作業手順

① 回転の安定

バフモーターを起動し、回転が安定するまで数秒待ちます。

手順は動画でも確認できます➡



② バフ掻き作業

バフ掻きを両手で保持し、回転が手前に向かってくる「**バフの下半分(右画像赤枠)**」の位置に水平に当てます。

注意事項

- ・バフ掻きが巻き込まれたり弾かれないよう、両手でしっかり握って離さないようご注意ください。
- ・初回作業時は大量の糸くずが周囲に飛散します。



③ 表面の整形

電源を切り、バフの回転が止まるのを待ちます。
長く飛び出した余分な糸（ケバ）を裁ちばさみで全体をカットし、表面が平らになるよう整えます。



裏面に続きます

2. 研磨剤の定着

起毛させた繊維に研磨剤を馴染ませ、安定した研磨層を形成させます。



【塗布途中】

ムラがあり、研磨剤が全体にのりきっていません。



【完成】

研磨剤が均一に乗り、加工が可能な状態です。

作業手順

①初期塗布

バフモーターを起動し、両手で研磨剤を持ち、押し当てて塗布します。

新品のバフは研磨剤を弾きやすいため、時間をかけて研磨剤を強めに押し当てます。

②中間整形

研磨剤を塗布する過程で繊維が再びほつれてくるため、その都度モーターを停止させ、ハサミで余分な糸をカットします。

③くり返して整える

【研磨剤の塗布⇒糸のカット・バフ掻き作業】を数回繰り返し、バフ表面に均一な研磨層を作ります。

要注意



「1つのバフ布につき、1種類の研磨剤」しか使用できません。

- ・ 違う種類の研磨剤（例：青棒と白棒など）を同じバフ布で使うことは厳禁です。
- ・ 粒子サイズの違う研磨剤が混ざると、磨き傷が消えなかったり、本来の光沢が出なくなったりと、加工品質が著しく低下します。
- ・ バフの側面にマジック等で「使用する研磨剤の名前」を記入し、専用バフとして管理することを推奨します。

3. セットアップ完了の目安チェック

各作業が完了できているか、確認します。当てはまらない場合は、【研磨剤の塗布⇒糸のカット・バフ掻き】を再度繰り返します。

項 目	理想的な状態
表面の質感	新品のタオルのようなフカフカ感があり、毛先が均一に整っているか？
研 磨 剤	バフの布地が見えなくなるまで、研磨剤が全体にしっかり乗っているか？
形 状	回転させた際にブレがなく、綺麗な真円に見える状態か？